

「 土砂災害から命を守るために 」

宮崎県 西米良村立西米良中学校 1年 田爪 陽大

僕が住んでいる西米良村は、96%が森林で、村の中心には清流一ツ瀬川が流れている、自然豊かな場所です。山登りをしたり、きれいな川で遊んだり、自然を満喫できる大好きな僕の村です。ですがそんな美しい自然も、ときに危険性のあるものになってしまう。

僕は小学生の頃に、土砂崩れによって、登下校をする時に遠回りをしていかないといけないという時期がありました。本来なら小学校まで車で約10分で着くところを、遠回りにより車で約1時間半かけて通学することになりました。ですがしばらくしてから、建設業の方が橋を造ってくれたおかげで徒歩で向こう岸まで行き、バスで登下校することができるようになりました。いつもより朝早く起きて準備したり、険しい道を歩いて登下校したりするということでも不便な日々を実際に経験し、土砂災害はどのように発生するのかやそれをどう対策していくかなど、たくさん気になることがありました。

まず、土砂災害の種類とその特徴です。土砂災害の種類は、主に土石流と崖崩れと地すべりの3種類がありました。土石流は大量の水と土砂や岩石が混ざり合っ一気に流れでるという特徴で、崖崩れは急な斜面が突然崩れ落ちるという特徴、地すべりは斜面が地下水の影響でゆっくりと移動するという特徴があります。この3つの中で最も被害が大きいのが土石流ということを知りました。西米良村で最も多い土砂災害は、土石流ということが分かりました。

次に土砂災害の対策です。土砂災害の前兆は種類によって違うというのに驚きました。

土石流では、雨が降り続けているのに、川の水位が下がったり、流木が流れてきたりするなどがあります。崖崩れでは、崖から小石がパラパラと落ちてきたり、崖にひび割れや亀裂が入ったりするなどがあります。地すべりでは、地面や斜面にひび割れや段差ができたり、建物や樹木が傾いたりするなどがあります。またこのほかに土砂災害の前兆として、異様なにおいがしてきたり、不気味な地鳴りや振動が発生したりなど、たくさんの前兆があることが分かりました。こういった前兆が聞こえたら近くにいる人に伝えるなどして、すぐに避難するようにしたいです。特に西米良村で最も多い土石流は、発生までの時間が短く、逃げ遅れる危険性が高いため、早めの避難が必要とされます。

僕の父の知り合いが約8年前、車を運転中に土砂崩れに遭遇しました。その時は、運転中ふと崖の方を見ると小石がパラパラと落ちてくるのに気づき、そのまま進むのをやめました。すると、次の瞬間土砂崩れが発生し、目の前が土砂でうまりました。もし前兆に気づかず、そのまま進んでいたらまきこまれていたそうです。その話を聞いて前兆に気づくことの大切さを改めて感じました。

最近では台風だけでなく、線状降水帯によるゲリラ豪雨などもひんぱんに発生するので、想像以上の大雨が降り、土砂災害のリスクが高まっています。テレビなどでは、川がはんらんし、家が浸水したり、農作物にも被害が出たりして、人が流され行方不明になるというニュースを見ることがあります。僕の家は川の増水による浸水などの心配はないけれど、祖父母の農業用ハウスの近くには川があるので、増水したときはとても心配になります。また、父が働いている理容室が昔、台風

令和7年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 砂防協会会長賞

で川が増水した影響でひざの高さまで浸水したことがあるという話を聞きました。このような話を聞いて、僕がよく知っている場所でも土砂災害のリスクがあることを知り、他人事ではなく自分事ととらえて、備えることが大切だと思いました。

もし災害が起きたときに困らないためにも、自分の家の周りなどのハザードマップを確認しておき、避難場所や避難経路を調べる必要があります。近所の人や友達とも連れいして冷静に対応できるように準備をしたいと思います。また、災害はいつ起こるか分からないので、普段から防災グッズを準備したり、家族で話し合ったりすることが必要だと思います。

このように、土砂災害が起きても冷静に対応できるように、普段からの備えや万が一のときのシミュレーションをし、自分や家族の命を守る行動をとれるよう準備を万全にしておきたいです。